

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果について

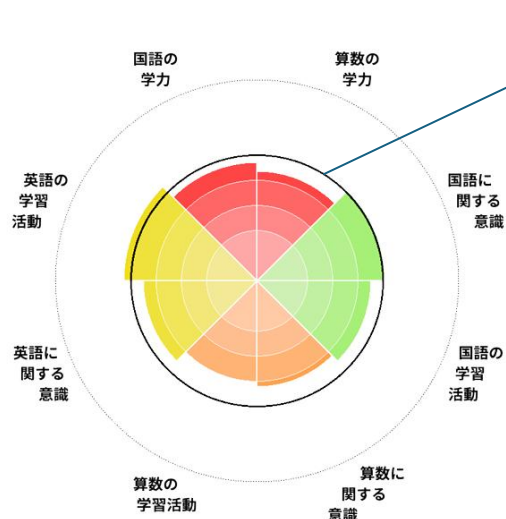
令和8年4月23日に6年生を対象として、令和8年度全国学力・学習状況調査が実施されました。日本全国の6年生と中学3年生を対象とした調査で、児童の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ったり、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てたりすることを目的として実施しています。本校中期学校経営方針に示す子どもの姿を育むため、日頃の教育活動・授業改善へと生かしていきます。

- 課題解決のために主体的に学び、互いの考えをつなぐ「探究的な学び」を通じて、様々な変化に対応する問題解決能力や創造力が高まっていることを実感している姿
- 相手の立場を理解したり、共感に基づいたコミュニケーションを図ったりする等、協働して目標を達成する力が高まっていることを実感している姿

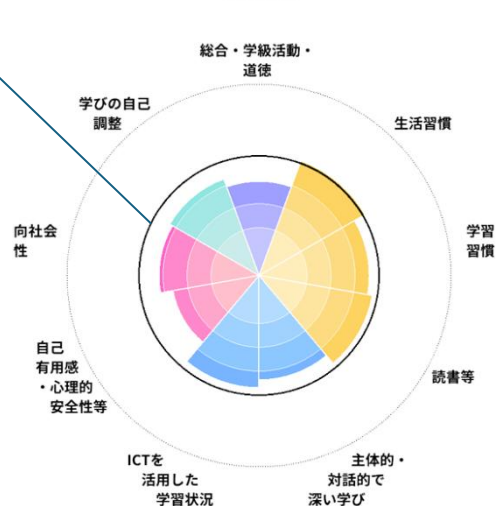
Ⅰ 全体の傾向

【※資料は、本校と全国とを比較した全国学力・学習状況調査結果チャート】

〔教科を中心とした学力・学習状況〕
(全国基準)



〔その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）〕
(全国基準)



国語・算数の学力（平均正答率）は全国平均を下回る結果となりました。一方で、国語に関する意識（興味・意欲等）は全国平均を上回っている項目もあり、学習への意欲や授業理解にはよい傾向が見られます。また、英語の学習活動も全国平均を上回っており、外国語活動への積極的な取組がうかがえます。

生活習慣は全国平均を上回っている項目もある一方で、学習習慣や主体的・対話的で深い学び、自己有用感・心理的安全性などの項目には課題が見られます。特に、自分の考えを安心して表現したり、自ら学びを調整したりする力の育成が今後の学力向上に向けた重要な課題となっています。

2 国語・算数について

国語「読むこと」の領域は全国・県平均を上回りました。文章から必要な情報を読み取ったり、内容を整理したりする力は概ね定着しています。また「国語が好き」「国語の授業がよく分かる」と回答した児童が全国平均を上回っており、学習意欲の高さが見られます。

「書くこと」の領域が最も低く、自分の考えを書く問題や文章を引用して表現する問題に課題が見られました。記述式問題の正答率も43.6%で全国平均を下回っています。しかし、質問(38)の結果から、自分の考えが伝わるよう工夫する意識は高めてあることがわかります。

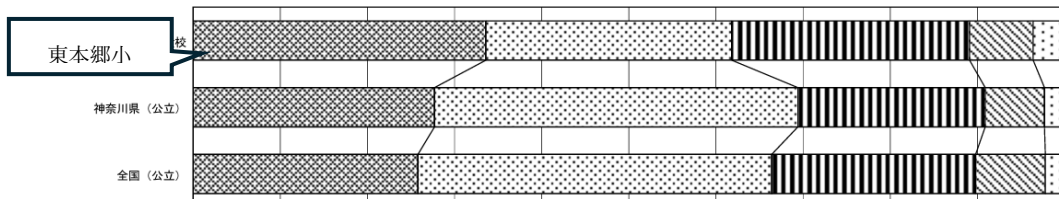
表1 国語 領域別の平均正答率(%)

	東本郷	神奈川県	全国
A 話すこと・聞くこと	62.4	66.9	65.8
B 書くこと	40.9	46.3	45.7
C 読むこと	66.4	66.2	65.9

「全教科を通じた説明・表現活動の充実」「根拠をもとに自分の考えを書く活動」を重点的に進めていきます。

質問(38) 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

- ☐ 1. 発表していた ☐ 2. どちらかといえば、発表していた ☐ 3. どちらかといえば、発表していなかった
☐ 4. 発表していなかった ☐ 5. 考えを発表する機会はなかった ☐ その他
☐ 無回答



算数「測定」の領域は全国平均を上回り、時間や量の理解は概ね定着しています。また、「算数は将来役立つ」と捉えている児童も多く見られます。

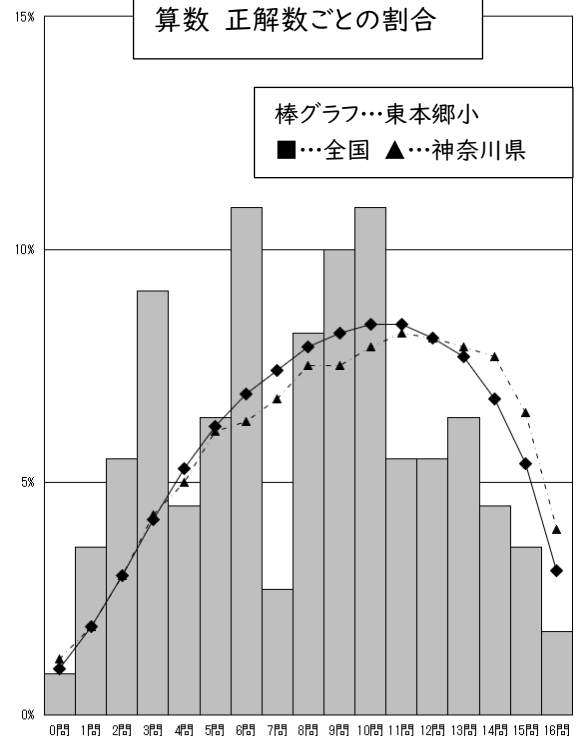
「変化と関係」「データの活用」が全国平均を大きく下回っています。割合や表・グラフを活用して考える問題、考え方を記述する問題に課題が見られました。

正解数ごとの割合では学力差に開きがあることがわかります。下学年や既習事項の復習を繰り返し、**基礎学力を定着させること**を目指していきます。

表2 算数 領域別の平均正答率(%)

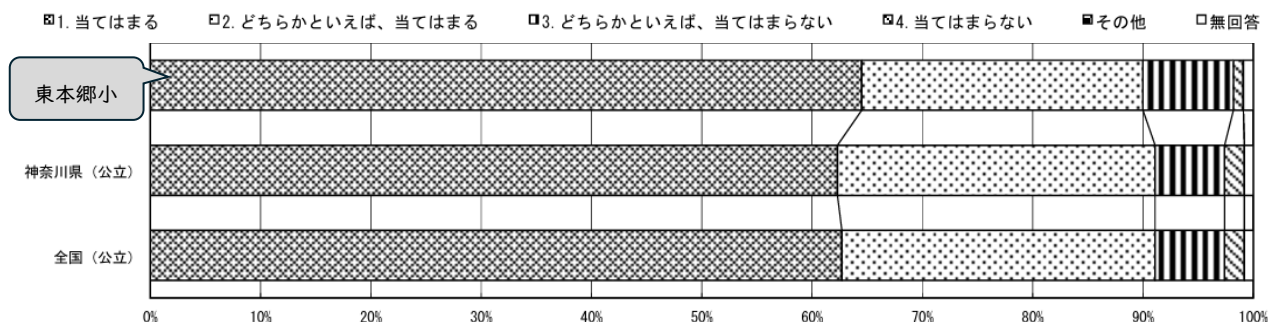
	東本郷	神奈川県	全国
A 数と計算	54.4	62.6	61.1
B 図形	49.5	57	55.3
C 測定	80	79.7	78.1
C 変化と関係	32.4	44.2	41.1
D データの活用	41.6	49.4	48.6

算数 正解数ごとの割合



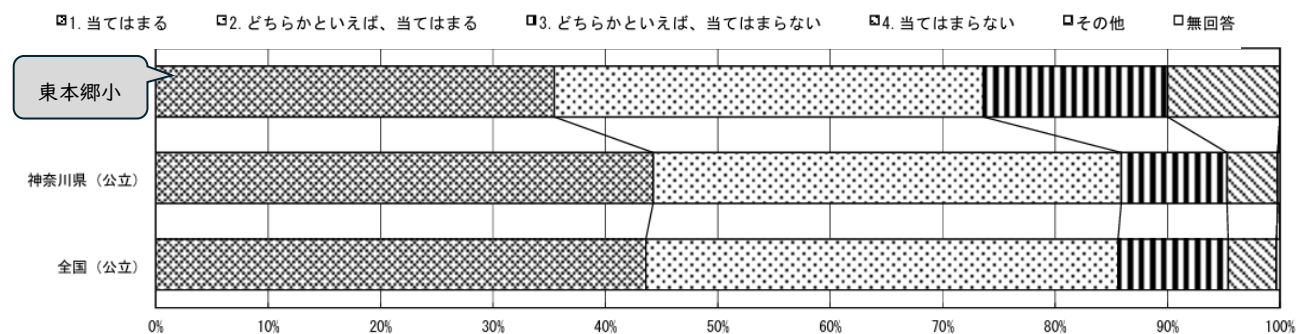
3 学習・生活習慣について（資料は児童質問回答結果より一部抜粋）

質問(17) 友達関係に満足していますか。



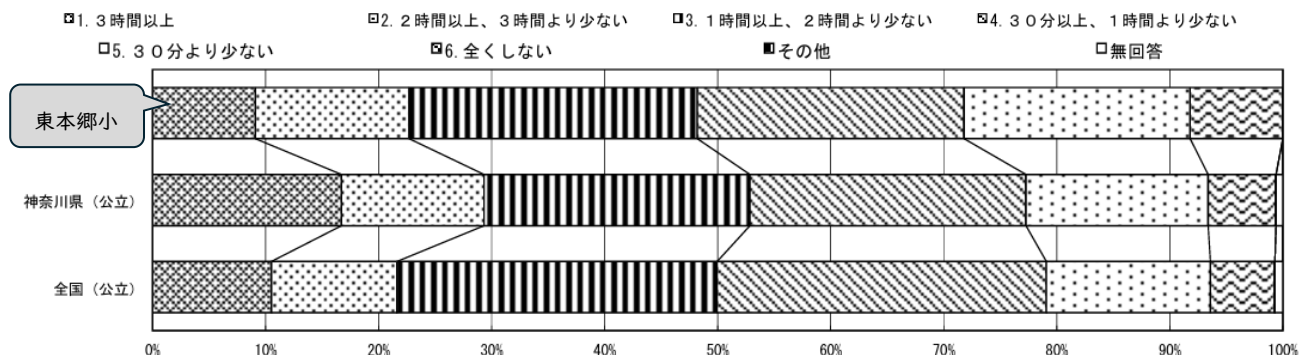
「友達関係に満足している」と回答した児童は90.0%（肯定的回答）となっており、多くの児童が安心して学校生活を送っていることが分かります。互いを認め合いながら活動する経験の積み重ねが、良好な人間関係づくりにつながっていると考えられます。

質問(8) 自分にはよいところがあると思いますか。



「自分にはよいところがある」と回答した児童は73.7%であるものの、全国平均を下回っています。自分のよさや成長を実感し、自信をもって挑戦する力を育むことが今後の課題です。学校では、一人ひとりの努力や成長を認める取組をさらに充実させていきます。

質問(23) 学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。



平日の家庭学習時間では、「30分未満」や「全くしない」と回答した児童の割合が見られます。学力調査の結果からも、継続的な学習習慣の定着が課題の一つとして考えられます。家庭と連携しながら、自ら進んで学習に取り組む習慣づくりを進めていきます。